

# 音を頼りに卓球体験

## 豊橋、視覚障害者向け教室

視覚障害者向けの卓球「サウンドテーブルテニス（STT）」教室が十五日、豊橋市東新町の市障害者福祉会館さくらピアで初めて開かれ、目の不自由な参加者が基本ルールを学びながら体験した。

テーブル上で金属球が入ったボールを打ち合つ。音を頼りに、中央ネットの下をはずよつにラケットで打ち返さなければならない。

「いや「速い球に備えてラケットをセンターラインに近づける」など基本的なアドバイスを受けた。

豊橋市西高師町の鈴木光子さんは「前の大会では、なぜ点を取られたのかも分からなかった。これから練習して体で覚えて行ければ」と話した。五月にも応用編の教室が開かれる。（相沢紀衣）



サーブの方法を参加者に教える  
難波さん（左）＝豊橋市東新町で

平成 29 年 4 月 16 日（日）  
中日新聞